ウインターオーバーシーディング用品種のご紹介

雪印種苗㈱　千葉研究農場

立花　正

1　はじめに

ノシバやコウライシバのような暖地型の芝草を栽培しているゴルフ場，サッカー場等では，冬期間は休眠している（葉が枯れて茶色になる）芝の上でのプレーを余儀なくされてきました。しかし，寒地型の芝草をウインターオーバーシーディングすることによって，冬も緑の芝生の上でプレーすることが可能になり，美観上からも注目される技術であることから，徐々に普及してきています。

ウインターオーバーシーディング技術が普及している中で，成功の可否を左右する寒地型芝草の品種についての認識は，まだ低い事も実状です。

ここではその品種と栽培の概要を，使用事例も含めてご紹介します。

2　ウインターオーバーシーディングとは

ウインターオーバーシーディングは,「冬期に葉が茶色に枯れてしまうノシバ，コウライシバのような暖地型の芝草が休眠する前の９～10月頃に，寒地型の芝草を播種し，冬期間これを利用する技術」です。そして翌年の４月以降は徐々に暖地型芝草の生育を促進し，梅雨～夏の時期には再びノシバやコウライシバの芝生とします。したがって，〝暖地型芝草と寒地型芝草のリレー栽培によるエバーグリーン化〞ともいえます。

3　ウインターオーバーシーディングのポイント

ウインターオーバーシーディングは前述したように,暖地型芝草と寒地型芝草のリレー栽培です。暖地型芝草と寒地型芝草は基本的に生育適温等の生育特性が全く異なり，その特性を理解し，上手に利用することが成功させる大きなポイントとなります。

(1)　品種選定

(1)　品種選定：ウインターオーバーシーディングに使用する寒地型芝草に望まれる特性は，下記の３点があげられます。

①発芽・初期生育が早い

播種期が９月中旬から10月中～下旬にかけての１～1.5か月の短期間であることから，播種した種子は速やかに発芽し，その後の生育も早いことが必要です。

②春の暖地型芝草への移行（トランジッション）が速やかである

４～５月は寒地型芝草の生育が旺盛になる時期です。しかし，暖地型芝草の新芽もふく（萌芽）時期でもありますから，この時期の寒地型芝草の生育があまりにも旺盛ですと，暖地型芝

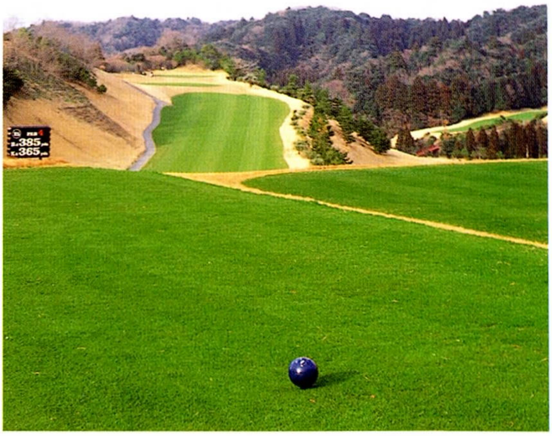
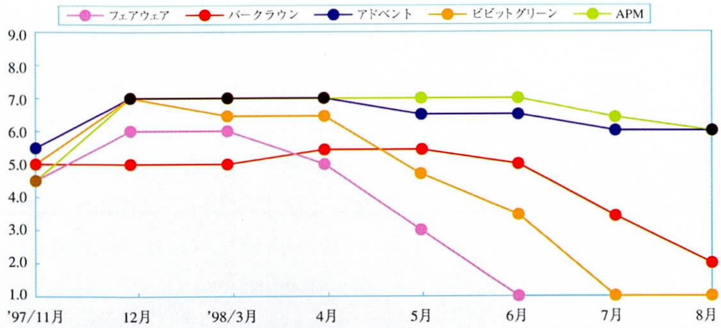


写真１　ウインターオーバーシードされたゴルフ場



備考）評点・極高：9～中庸：5～極低：1

図1　ウインターオーバーシード向き品種の密度の推移

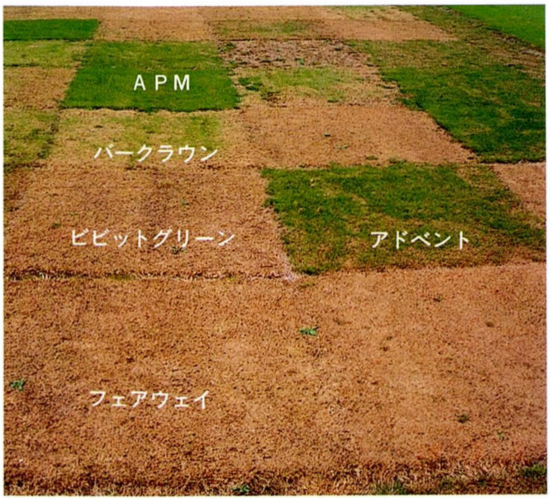


写真2　品種の越夏性比較テスト
（千葉研究農場：1998年）

草の萌芽を抑制することになり，その後の暖地型芝の密度が低くなってしまうことにつながります。したがって，播種する寒地型芝草は4月以降の生育が緩慢になり，かつ，密度が低下する品種が望まれ，いかに適正な管理をしたとしても，このような特性を持ち合わせない品種を選定すると，ウインターオーバーシーディングが成功しないこともあります。

③芝質が良い

一般的に芝生としての評価は芝質によって決定します。しかし，ウインターオーバーシーディングに関しては前述の①，②の特性をクリアした上で芝質を問う事になり，いくら芝質が良くても，暖地型芝草の生育を阻害するような品種は，ウインターオーバーシーディングには適さない事となります。

(2)　品種特性

以下に当社で試験を行いウインターオーバーシーディングに適すると判断され，各地で好評を得ている品種について特性を記載します。

①「フェアウェイ」アニュアルライグラス

フェアウェイは発芽と初期生育が早く，春期のトランジッションが速やかに行われ，暖地型芝草の生育を阻害することはありません。ペレニアルライグラスに比較すると芝質は粗いものの，ウインターオーバーシーディングを実施するには使いやすい品種です。

②「ビビットグリーン」ペレニアルライグラス

現在販売されているペレニアルライグラスの品種のほとんどは耐暑性，耐病性が強く，越夏性に優れる品種が多くなっています。このような品種をウインターオーバーシーディングに使用した場合には，トランジッションがスムーズに行われず，暖地型芝草の生育に大きなダメージを与えるのは必至です。しかし，ペレニアルライグラスは芝質が良い点から，近年のウインターオーバーシーディングで多く利用される草種でもあります。

ビビットグリーンはペレニアルライグラスの中では耐暑性に劣り，4月以降の密度低下も，他の品種に比較すると速やかに進む特性を持つことから，暖地型芝草の生育への影響が少ない，唯一のウインターオーバーシーディング専用のペレニアルライグラスといえます。

③「バークラウン」チューイングフェスク

バークラウンの葉は非常に細く，低刈り適性に優れる品種です。繊細な芝生を形成することから，ペレニアルライグラスのビビットグリーンやAPM等との混播で利用できます。

④「サクラワセ」イタリアンライグラス

本来は牧草用として開発された品種ですので，極端な低刈りを要求する場面での利用はできません。しかし，発芽が早く，かつ，春期のトランジッションが非常に早い特性を持ちます。

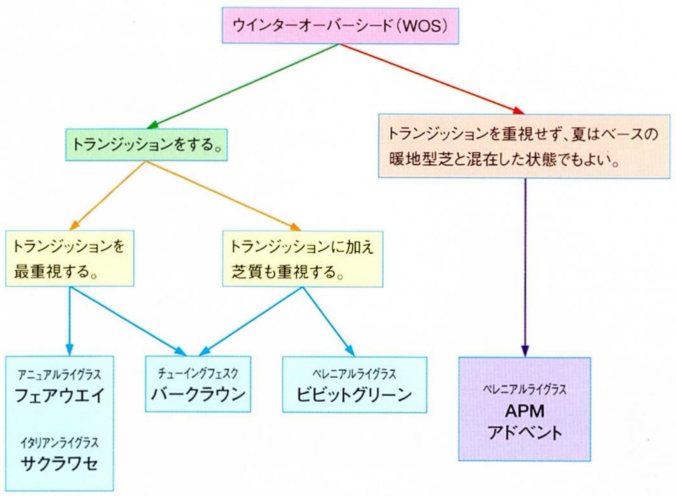


図2　品種選定のフローチャート

⑤「APM」「アドベント」ペレニアルライグラス

APMとアドベントは耐病性，越夏性に優れる品種ですから，トランジッションを行うウインターオーバーシーディングでは使用は控えます。しかし，ウインターオーバーシーディングを行いながら，暖地型芝草から寒地型芝草に草種を切り替える目的の場合や，ゴルフ場のティグラウンドやグリーンのような低刈りを要求する場面に適する品種です。低刈りを要求する場面ではバークラウンとの混播も可能です。

(3)　草種，品種の実際の使用方法

各草種，品種の特性を十分理解した上で，フローチャート（図2）に示したようなウインターオーバーシーディングの目的と実際の播種場面に応じて，どの品種を播種するかを決めます。さらに前述したように品種によって各々特徴があることから，その目的を達成するためには単播と合わせて混播も念頭に置きます。

【目的別の播種設計（例）】

①トランジッションを最重視し，芝質は重要視しない場合：**フェアウェイの単播**

播種量：30～40 g/m²

②トランジッションに加え，芝質も重視する場合：**ビビットグリーンの単播**

播種量：25～40 g/m²

③上記①，②の中間：

フェアウェイとビビットグリーンの混播

フェアウェイ：20～30 g/m²

ビビットグリーン：20～10 g/m²

合　計　40 g/m²

④トランジッションを重視せず，夏は暖地型芝草と混在した状態でよい場合：**アドベント，APMの単播**

「アドベント」，「APM」：各25～40 g/m²

(4)　オーバーシーディング前の施肥と更新作業

ウインターオーバーシーディングは生育中の暖地型芝草の上に，新たに寒地型芝草の〝タネ〟を播種することから，播種時に暖地型芝草の生育を抑制することが必要です。具体的な耕種的手法としては，①オーバーシード予定日の1か月前から追肥を止める。②通常の刈り高より低めに刈り，再生力を弱める。③バーチカルカット等によって芝の芽数を減らす，などの方法があります。

(5)　オーバーシーディング後の施肥

発芽が確認された時点から直ちに追肥を始めます。追肥量は窒素成分量で2～3 g/m²・回を目安にし，1回目はリン酸を多めに施肥しますが，その後はリン酸とカリも窒素と同程度とします。ただし，1回目の追肥をする時期は年によっては気温が高く，暖地型芝草の生育が旺盛な場合もありますので，そのような場合には追肥をやや遅らせることも必要です。

(6)　トランジッション

春期の寒地型芝草から暖地型芝草へ切り替える時期の管理ポイントは，早春の追肥は極力控え，やむを得ず追肥をしなければならない場合には，液肥等の速効性の肥料を少量使用し，遅くても3月中に施肥を終わらせます。遅い時期の追肥は寒地型芝草の生育を促進し，結果的に暖地型芝草の萌芽を抑制してしまいます。

次に，低刈りを行い再生力を抑えて，密度の低下を促進させます。また，浅いバーチカルカットやコアリング等の更新作業も有効です。

(7)　ベース芝となる暖地型芝草

ウインターオーバーシーディングをする際の

表：ウインターオーバーシードを行っている主な施設

場所			使用品種	播種法
ゴルフ場	宮崎県	北郷フェニックスCC	ビビットグリーン	単播
	宮崎県	トムワトソンGC	ビビットグリーン	単播
	宮崎県	フェニックス高原CC	ビビットグリーン	単播
	宮崎県	久山カントリークラブ	フェアウェイ	単播
	鹿児島県	祁答院ゴルフ倶楽部	ビビットグリーン	単播
サッカー場	千葉県	日立柏サッカー場	ビビットグリーン フェアウェイ	混播
	静岡県	ジュビロ磐田スタジアム	ビビットグリーン	単播
	広島県	広島ビックアーチ	ビビットグリーン	単播
	広島県	広島スタジアム	ビビットグリーン	単播
	岡山県	美作ラグビー・サッカー場	フェアウェイ	単播
野球場	宮崎県	宮崎市営球場	ビビットグリーン	単播
競馬場	京都府	京都競馬場	サクラワセ	単播
	東京都	東京競馬場	サクラワセ	単播

写真3　ウインターオーバーシードされた
日立柏サッカーグラウンド

ベースとなる芝の種類も重要であり，必要とされる特性としては，夏季の生育が旺盛であることはもちろんですが，春の萌芽やその後の再生力が旺盛な事も必要です。現在主に使用されているノシバ，コウライシバは春の萌芽や再生力がやや劣ることから，**関東以西の暖地では，再生力に優れる種子系バミューダグラスの「サンデビルII」「ジャックポット」の各品種の使用をお勧めします。**

4　使用事例

フェアウェイやビビットグリーンを実際に使用したゴルフ場，サッカー場等の一覧を表に示します。テレビ画面で，冬でも美しい緑の芝生でプレーしている光景を，ご覧になった方もあると思います。

5　おわりに

ウインターオーバーシーディングは冬期間〝緑の芝生〟の上でスポーツをすることができ，また美観も優れます。それだけでなく，休眠している暖地型芝草の上でのスポーツは，芝生が擦り切れる等の劣化を促進しますが，オーバーシーディングをすることによって，寒地型芝草が休眠中の暖地型芝草の生長点を保護し，これが結果的に，ベースとなっている暖地型芝草の使用（生存）年数を長くすることにもつながります。

今回ご紹介したウインターオーバーシーディングの考え方を理解して頂き，適品種の利用と適切な管理技術で，今後なお一層〝緑の芝生〟のグラウンドや広場が多くなることを期待しています。

スノーミックスフラワー・シリーズ
SNOW MIXED FLOWER

花と緑で美しいまちづくり　あらゆる場面で色とりどりの花が楽しめます
●酪農の環境美化に　●家庭花壇に　●公園花壇に　●工場緑化に

		北海道向け	府県向け 一般地域用	府県向け 西日本地域用
長期利用	1年草＋多年草ミックス	スノーレインボー（オールラウンド） レインボーカーペット（矮性）	トール（春秋播き別） ロアー（〃） ハイランド（寒高冷地） ポピュラー（経済的） カーペット（矮性）	緑化・植生用（タイプ1） 緑化・植生用（タイプ2） ポピュラー ハイランド
短期利用	1年草ミックス	エレガンス（高性） ファンタジー（矮性） スーパーグラデイション（コスモス）	春物語（秋播き、3タイプ） 夏物語（春播き、2タイプ） コスモス物語（3タイプ）	
家庭用小袋			酪農家向け小袋、ガーデン用小袋	